

キャラクター名	プレイヤー名
桐月 聡美(とうげつ さとみ)	

シンドローム	サラマンダー	ワークス	UGNエージェントB	カヴァー	大学生
	サラマンダー				
オプション		年齢	20	性別	女
覚醒	生誕	衝動	嫌悪	初期侵食率	39 %
出自	有名人	経験	トラウマ	邂逅	慕情

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	4
感覚	0	1	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	1		RC	1		交渉		
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
コネ: UGN幹部					
ロイス					
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	
Dロイス:特異点	P	N			
陽向 メイ(ひなた めい)	P 純愛	N 悔悟			
ルナたん	P 尊敬	N 劣等感			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
	P	N			
最大財産P:	6	残り財産P:	5		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ワイルドファイア	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暴走時【行動値】+Lv*3 侵基+4								
絶対冷度	5	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 暴走時【精神】判D+Lv+1個 侵基+3								
バーニングハート	5	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: HPD後BS暴走 シーン間+Lv*2								
氷の回廊	1	1	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果: 飛行状態で戦闘移動 3リ+Lv*2m								
氷の塔	7	4	Xジェー	視界	範囲(選択)	対決	-	
効果: 射撃: 攻+Lv*3 同エンゲージ不可								
氷炎の乱舞	6	4	Xジェー	-	-	対決	リミット	
効果: 《氷の塔》+Lv*3 判D-2								
結合粉碎	2	4	Xジェー	-	-	対決	ピュア	
効果: 判D+Lv 装甲無視								
CR:サラマンダー	2	2	Xジェー	-	-	-	-	
効果: C値-Lv								
変貌の果て	★							
効果:								
自動体温	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

性格、容姿
「明るく、元気に」をモットーに生きる前向きな少女。口癖は「大丈夫だよ、なんとかなるよ!じゃなくて、する!」
大学生として勉強しながら、UGNエージェントとして仕事をこなしている。《自動体温》で、季節問わず薄着にストールという謎の格好をしているため、周囲からの扱いは完全に変人である。また、首元から鎖骨付近、背中の中広範囲にわたり、やけどのような黒い傷跡がある(《変貌の果て》)。変人ではあるが、ひとつつこい性格である。誰とも仲良くしに行く。ただ、彼女と共に任務に行ったことがある人は彼女を恐れることが多い。

経歴
UGNチルドレンあがりのE-エージェントである。
UGNチルドレンとして引き取られる前は、桐月家の娘として英才教育を受けていた。また、桐月家は代々オーヴァードの家系であったため(社会で高い地位を得ていたのもオーヴァードの能力があったからだと推測される。真実は分からない。)、彼女も生まれつきオーヴァードの能力を持っており、その力の使い方の教育も受けていたという。
しかし、彼女は桐月家の中でも能力の扱いがとことん下手で、暴走状態になるほどレネゲイドを活性化させなければ自分の能力を発揮しきれなかった。ただ、暴走時の彼女の能力は誰よりも高かった。幼少時から指南役として彼女に付いていた、長い間、桐月家に仕えている猫RBのルナたんも「あの子の能力は危険だけれど、あれも才能だわ。歴代でも相当な方ね。」といっている。
桐月家では家宝として伝わる妖刀(イベタム)があり、それはその代で最も力のあるものに授けられるのだが、彼女は例外となった。彼女自身が荒れ狂う妖刀のようだと、と誰かが笑った。
そういうわけもあり、桐月家の中でも彼女に対する反応は様々で、遠巻きに見るもの、近づいて能力を利用しようとするもの、嫉妬するもの…など色んな人がいた。彼女はそういった者たちからの視線が嫌で嫌で仕方なかった。両親も例外ではなく、大嫌いだった。
己の未熟さを自覚しながら、ただ、ルナたんにも慰めてもらうことしかできなかった。この頃の彼女は泣き虫で暗い子だった。

そんな彼女の性格を変えた子がいた。陽向 メイ(ひなた めい)。聡美と同じ年の女の子で、桐月家の傘下の家の子だった。もちろん陽向家もオーヴァードの家系であったため、お互いに「聡美様」、「メイ」と呼び合っていたが、仲良くなるにつれ、「さとちゃん」「めーちゃん」と呼び合うようになっていった。